

## 和田町自治会ニュース

第161号

令和5年3月28日発行

### 祭典開催に向けて

—自治会・関係諸団体全体会開催—

コロナ禍の期間中、神事のみ祭典を行ってまいりましたが、この冬を越えたころから感染の終息傾向が見えてまいりました。

これを受けてスポーツ活動をはじめ様々な行事が再開され始め、社会が活気を取り戻し始めました。和田町もここで山車の巡行を伴う稲荷神社祭典を再開し、和田町を元気にしようという機運が高まってまいりました。そこで、祭典準備委員会(1/28)、第7回理事会(2/5)、第1回祭典実行委員会(2/11)、第2回祭典実行委員会(2/18)での検討を経て、4月9日(日)に山車の巡行を伴う祭典を挙行することを決定しました。

この決定を受けて、3月5日(日)午後7時より、神社、氏子会、自治会三役・理事、関係諸団体代表(環境美化委員、体育部長、清和会、囃子保存会、安全協会和田支部、消防団、小・中PTA)からなる和田町稲荷神社祭典全体会を開催し、祭典挙行までの準備計画、当日の進行、役割分担、神酒所、畑中との山車の競り合い等の確認を行いました。



1/28 第1回実行委員会



3/5 全体会

令和5年稲荷神社祭典

## 祭り男



和田町祭典委員会より、令和5年和田町稲荷神社祭典の祭り男を並木 茂さん(2丁目2組)にお願いし、快く引き受けていただきました。ありがとうございます。

並木さんは「令和元年4月の祭典以来久しぶりの山車巡行を伴うお祭りが無事に進行するように、拍子木役として頑張ります」とおっしゃっていました。

私達も祭り男の並木さんを中心にお祭りが盛り上がるよう願っています。和田町の多くの皆様に山車の綱を引いていただくとありがたいです。よろしく願いいたします。(祭典委員長 吉村正久)

### 手古舞衣装合わせ

3月19日(日)午後7時より和田町会館で手古舞の子供たちが着る半纏の衣装合わせを行いました。

日本の伝統というか、お祭りの伝統というか、半纏を着た子供たちの姿がとてもかわいく「粋(いき)」でした。

衣装合わせのあと、草履の掃き方や草履が外れないための紅白の紐の締め方なども教わりながら、お祭りに向けて子供たちの雰囲気も高まってきました。



3/19 衣装合わせ

## お囃子の稽古

お囃子はお祭りの気分を盛り上げます。体育館からお囃子が聞こえてきたので行ってみると、子供たちがお囃子の稽古をしていました。

木の柱の横棒を太鼓に見立ててたたくという練習を見ることができました。

子供たちはこうして演奏の基礎を身に着け、やがてお祭りで演奏を披露できるように上達していくのだろうなと考え、何事も基礎が大切なんだなとあらためて思いました。



お囃子の稽古

## 祭典のポスター



仲條善春さんに今年の祭典のポスターを描いていただいた2枚のポスターのうちの1枚です。踊りの躍動感を感じます。

## 令和5年和田町稲荷神社祭典

期 日 令和5年4月9日(日)  
受 付 8時50分開始(会館)  
神 事 9時 山車お祓い(運動広場)  
山車出発 9時30分(運動広場より)

## 写真で綴る諸行事

### ◇天神様清掃、お燈明銭

1月8日(日)子供たちによる天神様の清掃が行われ、お神とお神酒のお供えをしていただきました。清掃終了後、地域の方々にお燈明銭 27243 円をいただきました。ご協力ありがとうございました。

このお燈明銭も、学問の神様である菅原道真公を祀ってある神社ということで時代の変遷とともにやり方は変化してきていますが、和田町の子供たちが受け継いできた和田町の伝統行事の一つです。



### ◇消防団出初式

1月8日(日)10時より永山公園において青梅市消防団出初式が行われました。新型コロナの感染縮小傾向を受けて、今回はコロナ禍前の形式で行われました。写真は第4分団第2部、和田町の車両行進です。



### ◇天神様祭典

1月8日(日)午後1時より天神様の祭典を行いました。準備、参列、玉ぐし奉奠は2丁目理事が行いました。お囃子の演奏が祭典の雰囲気を高めてくれました。

宮司さんより天神様の由来等の説明をいただいたあと、乾杯と赤飯で祝いました。



### ◇梅の木の消毒

2月14日(火)梅ウィルスの発生を防ぐために地元の方々による梅の木の消毒が行われました。



### ◇梅の木植樹

3月1日(水)午前9時ころより徳昌寺オープンガーデンに梅の里づくり実行委員会の和田町地区会員による鹿児島紅梅：(紅梅の代表品種)の植樹が行われました。来年の梅の季節に訪れて観ていただければ幸いです。

<註> 梅の里づくり実行委員会：梅の里再生を期す青梅市観光協会、生産森林組

### 合や自治会等による共同プロジェクト。



### ◇吉野梅郷梅まつり「甲冑隊」

3月5日(日)神代橋通りで行われた梅まつりでの「甲冑隊」出陣前の一コマです。参加者は手作りの甲冑を身に付けて武者行列を行いました。

甲冑姿は1丁目の粕谷勝実さんです。



### ◇西中生徒による「足軽鉄砲隊」

西中の生徒さんたちです。先頭は副校長先生です。小学生や中学生の皆さんの地元の行事への参加・協力はありがたいです。



### ◇梅郷地区戦没者慰霊祭

3月11日(土)10時より、梅郷地区の戦没者が祀られている梅郷地区戦没者慰霊塔苑地において第67回梅郷地区戦没者慰霊祭が挙行されました。参列者は白菊を手向け戦没者の慰霊を行いました。

慰霊塔には、畑中26柱、和田町14柱、下郷18柱、中郷28柱、上郷13柱、柚

木町 36 柱、合わせて 135 柱の御霊が祀られています。



#### ◇自治会第 2 回資源回収

3月12日(日)午前8時30分より自治会第2回資源回収を行いました。

なお、業者さんへの売上金 3,678 円、市の報償金 37,736 円、合計 41,414 円になりました。



#### ◇清和会による児童公園清掃

3月14日(火)午前8時30分より清和会による児童公園の清掃活動が行われました。ありがとうございます。

また、12月に清和会より充電式の掃除機と長机5脚が会館に寄贈されました。ありがとうございます。



清和会の皆様

#### ◇清掃活動終了後の会合

清掃活動終了後、清和会よりの声掛けで会員の方々にお集まりいただき、また、民生委員の輪干さんにも参加していただき、包括支援センターうめそのの職員の方2名と今後、包括支援センター、民生委員、

清和会、自治会の4者で連携しながらどのような事業を進めていけばよいのかについて話し合いました。その結果、介護保険制度について分かりやすく教えてほしいという要望寄せられました。そこで、次回(5月9日)は「介護保険制度」について学ぶ会にしたいと考えています。



#### ◇赤ぼっこ由来説明板を設置

3月15日(水)、有志による手作りの「赤ぼっこ」の説明板から、新しく業者さんに制作を依頼(梅の里づくり実行委員会の支援を受ける)した説明板に交換する作業を行いました。赤ぼっこは、関東大震災の地震によって山の表土が崩れ、赤土が露出したところから、1923年に発生した関東大震災以来今年で100年になります。



#### 訃報

2丁目5・6組

濱野省治様(83歳)が1月24日にご逝去されました。

2丁目5・6組

志村敏江様(82歳)が2月6日にご逝去されました。

謹んで哀悼の意を表しますと共に心よりご冥福をお祈り申し上げます。

和田町自治会ニュース

発行責任者 和田町自治会長 吉村正久

<http://www.ome.renngou.jp>